

# 情報セキュリティ 理解度チェック

プレミアム

<http://slb.jnsa.org/eslb/>

## 情報セキュリティリテラシー

### 企業リスク管理の第一歩

情報漏えいをもたらす直接間接の損害は、企業の価値を損ね、業績を直撃します。情報システムの障害は事業の運営管理を阻害し、規模によってはその存続を左右します。情報事故は企業管理上、大きなリスク要素となってきました。情報事故の要因のほとんどは、一般従業員の過失やミスであり、その背景には、情報セキュリティへの知識・経験不足があります。従業員の情報セキュリティリテラシーの確保は、企業経営上のリスク管理課題の第一と言えます。

## JNSA 理解度チェックサイト

### 情報セキュリティリテラシー教育の第一歩

JNSA では、2007年1月に個人利用向け「情報セキュリティ理解度セルフチェック」サイトを開設し、一般従業員が業務上身につけるべき情報セキュリティ知識を自習により確認できるサービスを提供してきました。2008年12月からは、企業の管理者が自社の社員を登録して履修させ、その結果を管理できるサービス「情報セキュリティ理解度チェック」サイトも開設。社員が個別的関心で受講するだけでなく、組織として自社の到達レベルを確認したり、同業種内でのランキングにより、自社のセキュリティレベルが他社に比較してどの程度かがわかるサービスも提供しています。

### 知っておきたい情報セキュリティとは・・・

一般のオフィスワーカーが仕事をする上で、最低限身につけておいてほしい、セキュリティに関する“常識”的知識の程度を確認するものです。PC、メール、ウイルス、紙や記憶媒体の取扱い等、オフィスの内外で日常的に接する情報やさまざまなシーンにおいて、守るべきこと、やってはいけないことを確認し、身につけるものです。

問題を解く形式で、解説を確認することで情報セキュリティリテラシーが身につきます。Web ベーストレーニング (WBT) と言われる、自動・自習のシステムにより、場所と時を選ばず、また管理者がいちいちお膳立てする手間を省いて、効率よく情報セキュリティ教育を実施できます。

### 出題のカテゴリ

- ・電子メールの知識と利用法
- ・インターネットの利用法と注意点
- ・ウイルスの知識と対処方法
- ・パスワードの知識と管理
- ・PCの利用上の注意点
- ・オフィスにおける情報セキュリティ
- ・ルールや規則の遵守
- ・社外における情報セキュリティ

### 自習の方法

- ・問題は各カテゴリから万遍なく25問抽出し出題されます
- ・ユーザは1問ごとに4択から正解と思うものを選択します
- ・25問を1時間以内に解き採点結果を確認します
- ・各問の意味や間違った理由を解説を見て学びます
- ・繰り返し受講することで多くの問題に挑戦できレベルアップが図れます

### 管理者による管理

- ・受講対象者をユーザとして登録、追加、削除します(個人情報の登録は不要)
- ・問題セットを選択し学ばせたい問題を選択します
- ・自社独自の問題を作成登録できます
- ・ユーザの受講結果を確認・未受講ユーザのチェックができます
- ・自組織の平均得点をレーダーチャートでカテゴリ別に確認。業種や全体の平均との比較もできます
- ・受講結果はCSVダウンロード可。ユーザを個別管理・フォローできます

プレミアム版の特典やサービスの詳細情報は裏面をご覧ください。

**JNSA NPO 日本ネットワークセキュリティ協会**  
<http://www.jnsa.org>

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-22-12 JCビル 4F TEL: 03-3519-6440 E-Mail: slb@jnsa.org

## 理解度チェックサイト基本機能

### ▶ 情報セキュリティの基本的知識レベルを確認

- ・オフィスで仕事をする上で必要な、基本的情報セキュリティ知識のレベルをチェック
- ・PCやメールの扱いから、ウイルスの知識、ネットマナー、物理セキュリティまで、8カテゴリを網羅

### ▶ 自社の教育対象者を随時登録可能

- ・登録対象ユーザにユニークIDを振り、自組織の識別記号をつけて登録するだけで簡単に登録可能
- ・登録ユーザの追加、削除も管理者画面で常時可能

### ▶ 登録ユーザの履修状況を確認可能

- ・登録したユーザー一人ひとりについて、受講終了か否かを随時確認可能
- ・登録ユーザの受講状況データをダウンロード可能

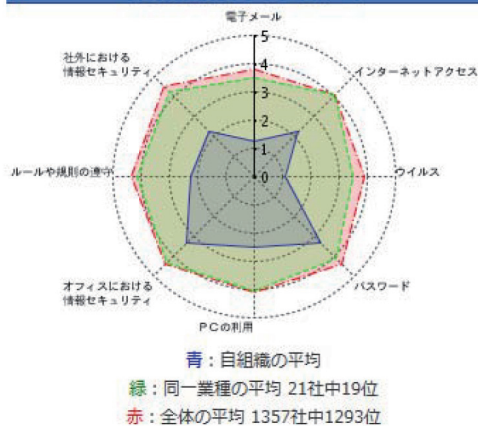
### ▶ 自習方式で自らの知識レベルを自己確認

- ・1回の受講は25問の出題への解答と答え合わせ
- ・その場で解説を確認することで、不正解だった問題のどこが間違っていたかを確認、正解だった問題もどういう意味か、注意点はなにかを確認可能

### ▶ その場で採点結果が得られ得手不得手が確認可能

- ・全問解答後ただちに採点結果の確認が可能
- ・業種内、全国全体でのランキングで自組織の位置も確認可能  
反復学習の励みになります

分野別正解率レーダーチャート



## 問題集購入より安価な利用料

### ▶ ユーザー一人当り年間数百円程度から

- ・教科書、参考書や問題集の配布より安価
- ・全約290問 (2018年8月現在) から任意の25問を出題、随時入れ替え可能

販売代理店

株式会社RSコネク  
ICT推進グループ  
東京都文京区湯島3-26-11  
TEL: 03-6895-8763  
Mail: sc@rsc.ne.jp

## プレミアム機能

### ▶ 受講結果をモニタリング

- ・登録ユーザー一人ひとりについて、受講履歴と、受講結果の点数の確認が可能
- ・ユーザ個別の回答結果の確認ができ、何を選択して間違えたかわかる
- ・苦手な部分は個別指導でレベルアップも図れる

### ▶ ユーザー一人ひとりの受講履歴を確保

- ・ユーザー一人ひとりについて学習の履歴と結果の記録が可能
- ・ISMSやPマークの従業員教育にも対応が可能

### ▶ 自社の独自問題を編集・出題可能

- ・自社固有のルールや、重点管理したい項目を出題することで、より自社に密着したサイトに改良
- ・独自問題は最大25問まで出題可能、2択か3択での作問も可能。
- ・出題問題数を25問ではなく10問、15問を選択する機能も追加 (2018年)

### ▶ 自社独自の出題パターンを設定可能

- ・8カテゴリの登録問題から出題問題を選択
- ・重点テーマ等に沿ってパターン設定することで、重点学習テーマを容易にサイトに組み込み可能
- ・出題パターンは随時変更可。テーマの設定や、苦手領域の集中履修等の柔軟な運用が可能

### ▶ 問題をダウンロード、印刷可能

- ・マイナンバー対応問題16問もプレミアムのお客様のみに提供

## 充実した出題と解説

### ▶ JNSAの精鋭メンバーが総力を挙げて出題

- ・個人情報漏えいインシデント調査や情報セキュリティ教育の研究分析に長年携わってきたメンバーが問題を作成
- ・ワーキンググループで精査、推敲を重ねて候補選定し、JNSA顧問の大学教授、弁護士による監修を経て問題として採択
- ・オフィスで想定されるほとんどのシーンを網羅して、間違いやすい選択肢も提示して注意喚起
- ・ITパスポート試験や情報セキュリティマネジメント試験の過去問からも出題

### ▶ 問題例

問： 意味の良く分らない件名の、添付ファイルつきメールが来た時の対処法として最も適切なのはどれでしょうか？

- A： 内容を確認するために、直ちに添付ファイルをダブルクリックして起動する
- B： アンチウイルスメーカーのホームページで調べ、ウイルスには該当しないかどうかを確認の上、ファイルを開けてみる
- C： メールやファイルを開ける前に、セキュリティ担当者に相談して指示を仰ぐ
- D： 直ちに上司に報告して上司の見ている前でファイルを開けてみる

問： PCの廃棄方法で適切なものは、次のうちどれでしょうか？

- A： すべてのハードディスクをフォーマットする
- B： すべてのハードディスクのデータを消去する
- C： すべてのハードディスクを専用の消去ソフトで消去する
- D： デスクトップ上のデータとゴミ箱の内容をすべて消去する